



読書週間

自らと向き合う時間～面談と読書～

6月第2週は、面談・読書週間です。授業が終了してからの30分間、教室では落ち着いて読書をしました。並行して、担任の先生や学科・コース等の先生方と進路や学習成績、日常生活等に関わる面談が校内各所で行われました。



面談週間

オンライン国際交流～フランスの海洋高校～

フランス西部にあるギルビネック海洋高校と本校生徒が国際交流を行いました。互いの地域の特徴的な水産物について調べた内容を英語で発表し、意見交流を行いました。本校からは、実習で養殖(育成)しているイワガキ、イワガキ育成実習でよく見られるムラサキガイ(ムール貝)やワカメ、春先に豊漁だったイワシ類、本校実習製品鯖缶の原料であるマサバについて発表しました。

7月には、宮津市の姉妹都市であるニュージーランド・ネルソン市の高校生との交流も予定されています。

オンラインでの交流を通して、海外を身近に感じることができています。



「京の鯖」はフランスでも大変好評でした。

おもてなしの心～華道教室～

食品経済コース2年生が華道教室を受講しました。

この取組は京都府伝統文化事業の一環で、本年度で2年目になります。

2年生は今後も継続的に華道について学び、池坊の免状取得を目指します。作品は、本校が毎月開催する「高校生レストラン」で展示します。華道を通じて、食品経済コースが目指す「おもてなしの心」の育成に繋げることができました。



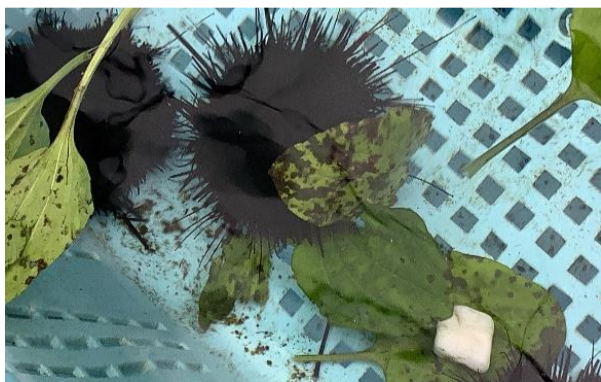
作品は「高校生レストラン」でご覧ください。

「ウニ」のバトンで豊かな海へ

ウニといえば、高級寿司ネタとして人気がありますが、近年、京都府の海ではウニが異常に増え、サザエやアワビの餌である海藻を食べつくしてしまう「磯焼け」という問題が生じています。このような場所に生息しているウニは、身入り(食べられる部分)が少ないかまぼなく、商品価値が低いことが特徴です。

海洋技術コースから

海洋技術コースでは、宮津市大島地区沿岸のウニ駆除を行いました。同地区の漁業者の皆様と協力しながら、10年前からこの取組を続けています。長年の成果もあり、海藻は徐々に増えてきていますが、それでも未だに多くのウニが生息しており、今年度は121kgのウニを駆除しました。



ウニにも好き嫌いがあるようです。



岩肌が「磯焼け」の状態です。

栽培環境コースへ

栽培環境コースでは、駆除されたウニを美味しい商品にして、海も食生活も豊かにする研究に取り組んでいます。

現在は、アブラナ科のキャベツやチンゲンサイ、オオパコ等の野菜をウニに与える実験を行っています。観察していると、ウニも人間と同じように好みがあり、キャベツが最も食べっぷりがよく、野菜の切り方や飼育水の循環方法により食べる量が異なります。

今後も、豊かな海を未来に残しながら、ウニを地域の特産品にできるように、研究活動に励んでいきます。

学校説明会に参加しませんか？

8月1日(月)～3日(水)、中学生対象 学校説明会を実施します。(中学3年生対象：8月1日・2日のどちらか、中学1・2年生対象：8月3日)

本校では、夏、秋、冬に学校説明会を実施していますが、本校生徒によるダイビング実演やカッターボート漕艇体験は、8月実施の学校説明会ならではのメニューです。また、トラフグやヒラメ養殖のための大水槽の見学や食品加工等、多様な体験ができます。さらに、多くの海洋生が体験サポートスタッフとして参加しておりますので、在校生の「生の声」を聞くこともできます。

中学生のみならず、ぜひ学校説明会への参加を検討してみてください！



学校説明会「体験乗船」の様子(昨年度)

目指せ 資格王(その3) 危険物取扱者



給油中の
実習船「みずなぎ」→

「危険物」とは、火災発生の危険性が大きく、引火すると消火しにくいといった性状を有する物品のことを指し、消防法で定められています。身近なものでは、ガソリンや灯油等があります。

この資格には、甲種、乙種、丙種の3種類があり、それぞれ取り扱える物品や数量が異なります。乙種や丙種は誰でも受験できるため、本校生徒は丙種や乙種第4類を受験します。

海洋高校の学習内容との関連としては、船舶の燃料油や食品工場の動植物油類等があります。

本校は試験会場になっており、いつもの学習環境で、落ち着いて受験することができます。1年生も国家資格取得に向けて初挑戦します。

学習期間	1・2・3年次(自学自習)	
費用	乙種(各類)	約5,600円
	丙種	約4,700円
	(検定代、テキスト代を含む。)	

過去問題(丙種)に挑戦しよう！(答は右下)
問 窒息効果による消火方法は、次のうちどれか。
1 アルコールランプにふたをして消火する。
2 ろうそくの炎に息を吹きかけて火を消す。
3 ガスこんろの栓を閉めて火を消す。
4 木材の火災に棒状注水して消火する。
出典：一般財団法人 消防試験研究センターウェブサイト

今月の生き物 飼育難易度 Max・マツカサウオ



マツカサウオはキンメダイ目の魚で、黄色い体は強靱な鱗に覆われており、動きは鈍いです。しかし捕食速度は速く、オキアミを口に近づけると一瞬で食べます。また、発光する魚としても知られ、顎の先端に一对の発光器があり、ここに発光バクテリアを多数共生させて光を放ちます。

生きエサへの嗜好性(好み)がかなり強く、餌付けが大変難しい魚です。一般には、餌付けできずに死なせてしまうことが多いようです。本校では2尾飼育しており、それぞれ1年・2年以上飼育しています。今後も丁寧な管理で飼育を継続していきたいです。

過去問題に挑戦しよう！
答 1

航海実習



「船乗り」の1日は特殊です。船を24時間動かすため、船乗りは1日を3交代に分け、勤務に当たります。航海船舶コースでは、船舶職員として必要とされる知識や技術を身に付けるため、長期航海実習を実施しています。

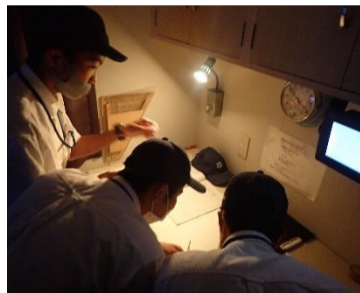
6月7日(火)～19日(日)の13日間、航海船舶コース3年生が、本校実習船「みずなぎ(258トン)」を用いた国内航海実習に取り組みました。例年は3年生の集大成として国際航海(済州島ほか)を実施することになっていますが、コロナ禍により、ここ3年は期間を短縮して国内航海を実施しています。今年の寄港地は下関、神戸、函館でした。

航行中は、3交代の航海当直に食事当番を含めた4班体制で任務に当たりました。瀬戸内海での錨泊当直、神戸や函館での係留中は夜通しで停泊当直も行いました。寄港地活動としては、サンセイ株式会社(船舶の検査等を行う工場)や神戸大学海事博物館の見学、北海道大学水産学部での講義受講等を通して、海や船舶に関する知識を深化させることができました。

時には強風と高波で船酔いに苦しみ、夜中に眠気と戦いながら航海当直をすることもありましたが、互いに励まし合い支え合って、無事に航海実習を乗り越え、船乗りとして最も大切な「シーマンシップ」に磨きをかけることができました。



航海当直(昼、見張り・操舵)



航海当直(夜、航跡図の記入)



港湾短期大学校神戸校 見学



サンセイ株式会社 見学

みんなで原子の電子配列を考えよう

原子には原子核があり、周囲を電子が軌道を描きながら存在しています。1年「化学基礎」の授業では、電子の軌道についてのルールを学んだ後、班毎に各原子の電子配置を考えました。

ホワイトボードに電子配置を記入し、それをタブレット端末に写真で残しました。ルールが理解できなかった生徒も、他の生徒と協力することで、正しい電子配置を考えられるようになりました。

なお、海洋高校では、理科の授業も習熟度別の少人数講座を実施しています。



タブレット端末を活用した理科の授業

教育実習生 奮闘中!

海洋高校に2名の教育実習生がやってきました!今年度は、保健体育科と水産科です。

実習生控室前の黒板には、在校生へのメッセージが書かれています。

毎年、教育実習生から良い刺激を受けています。



全国大会出場決定おめでとう

7～8月にかけて、多くの生徒の全国大会への出場が決定しています。力強い応援をお願いします。(7月1日現在)

◆海洋資源科 食品経済コース

全国水産・海洋高等学校食品技能コンテスト

食品経済コース 3年 猪野 永詩さん
食品経済コース 3年 関 日菜子さん

◆ウェイトリフティング部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

女子 55kg級 2年 川崎菜々紗さん
男子 55kg級 2年 泊 幸太郎さん
男子 61kg級 1年 後藤 奎人さん
男子 102kg級 3年 樺澤 宙音さん

全国高等学校女子ウェイトリフティング競技会

女子 55kg級 2年 川崎菜々紗さん
女子 55kg級 2年 平井 芹さん

◆カッター部

全国水産・海洋高等学校カッターレース大会

◆レスリング部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

男子 92kg級 3年 升田 康太さん
全国高校グレコローマンスタイル選手権大会
男子 71kg級 3年 尾関 友陽さん
男子 92kg級 3年 升田 康太さん

◆ボート部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

女子シングルスカル 3年 長谷川果帆さん
男子ダブルスカル 3年 谷口 悠真さん
男子ダブルスカル 3年 田村 哉人さん

「海洋だより」の改善のため、アンケートに御協力ください。
(回答期限 7月1日～8月30日)



校長室より

各中学校の方でも、新型コロナの感染者数が減少し、学校行事等も徐々にコロナ前の実施形態に戻りつつあるのではないのでしょうか。

本校でも、3年生航海船舶コースの実習船「みずなぎ」による航海実習では、国際航海こそ叶いませんでしたが、3年ぶりにコロナ前と同じ日程(13日間)・時期(6月)に実施でき、神戸、北海道などを巡り、寄港地活動やイカ釣り実習なども含め充実感ある実習が実現しました。

前号以降も、部活動の活躍も止まりません。レスリング部1年1組 升田 夏実さんと同2組 西岡 吟さんが、2022年U17アジアレスリング選手権大会に、女子フリースタイルの日本代表選手として選出され、6月14日(火)～23日(木)にキルギス共和国での大会に出場しました。升田さんは2位(銀メダル)、西岡さんは3位(銅メダル)入賞を果たしています。

今夏の全国高校総体(インターハイ、四国開催)にも、ウェイトリフティング部から4人、ボート部から3人(シングルスカルとダブルスカルそれぞれ1艇、ダブルスカルは近畿大会(6/4-6/5)で優勝)、レスリング部から1人と、現時点でも計8人の出場を決めています。さらに、ヨット部では、秋に行われる国民体育大会(千葉県開催)に1人が出場を決定するなど、全国・世界レベルでの活躍が期待されています。

本校には、近畿地方一円を中心とする広範囲の中学校から目的意識(専門・キャリア学習、学力向上、部活動、資格取得、公務員他就職、国公立大学等進学、自立した生活など)が共通する仲間が集います。さらに、学びを深めた後は、生徒1人1人の夢に向かう多様な進路先(就職・進学)へと羽ばたくことができる『新しい自分との出会い』が実現する学校です。

中学3年生の皆さん、高校選びが本格化する時期になってきました。本校では8月1日(月)・2日(火)に学校説明会を実施します。是非、本校を訪ね、魅力を感じていただけましたら幸いです。

行事・イベント情報

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大幅な変更がある可能性があります。詳しくは、本校HPをご覧ください。

7/9(土) おさかなMAP
11:30-13:30 スタンプラリー&レストラン

海洋高校内の施設をめぐるスタンプラリー。“海洋高校 プイヤベースラーメン(300円)”の他、数量限定のお弁当やスイーツが食べられます。

7/16(土) フィッシング技能コンテスト

全国の水産・海洋高校生が参加する大会で、釣りの技術や海浜利用のマナー向上を目的として実施します。

7/20(水) 1学期終業式

7/22(金) 海洋プロジェクト
(進学補習～、7/29)

8/1(月) 中3生対象 第1回学校説明会

8/2(火) 中3生対象 第1回学校説明会

8/3(水) 中1・2生対象 学校説明会

8/20(土) 高校生レストラン(本校)

11:00-14:00

8/29(月) 2学期始業式

9/6(火) 海洋祭(文化祭)

9/7(水) 海洋祭(体育祭)